

## タスクスケジューラを利用してのツールの自動実行

### 【設定手順】

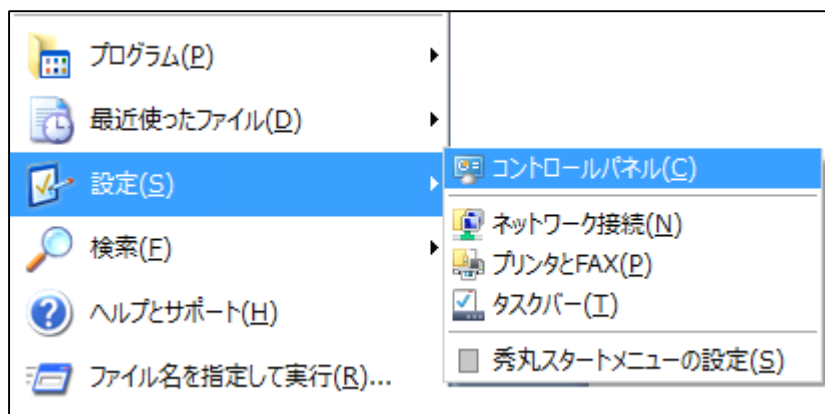
はじめに

ここではポイント自動獲得ツール【AutoCapitalism】の実行をタスクスケジューラで設定して、毎日定時にツールが自動で実行される方法を記載しています。

#### 1. タスクスケジューラの起動

タスクスケジューラを以下の通り起動させます。

① Windows のスタートメニューの『設定』から『コントロールパネル』を選択し起動させます。

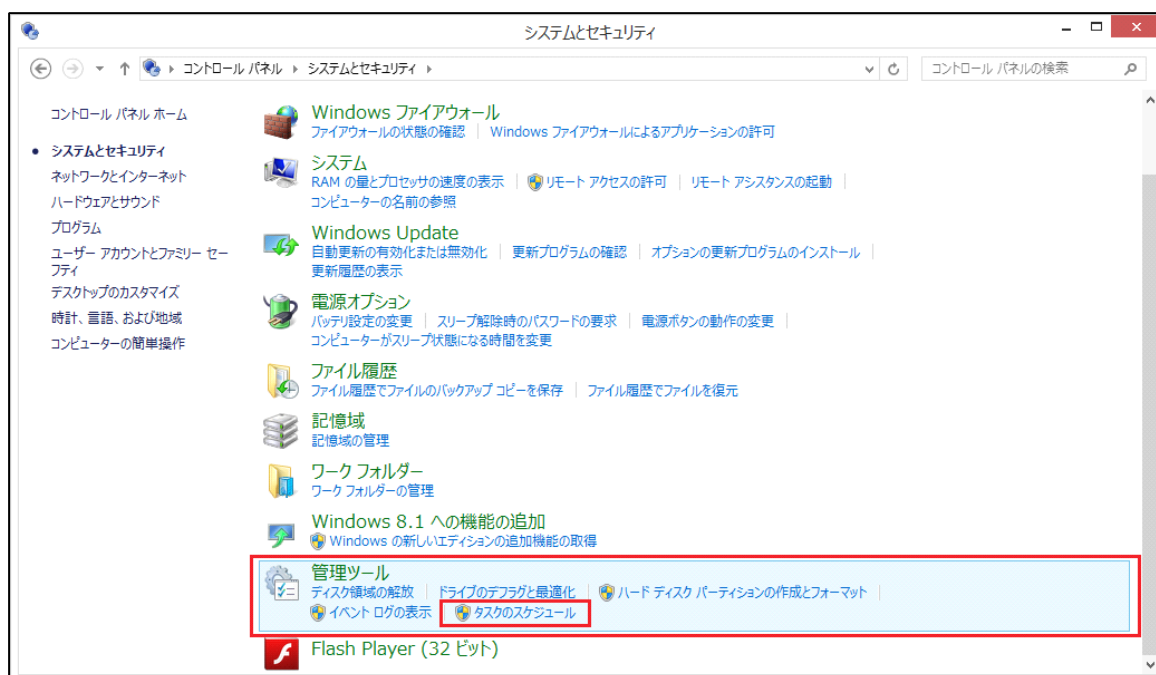


② コントロールパネルで『システムとセキュリティ』を選択します。



## 【設定手順】タスクスケジューラでツール自動実行 第2版

③ 管理ツールの『タスクのスケジュール』を選択します。



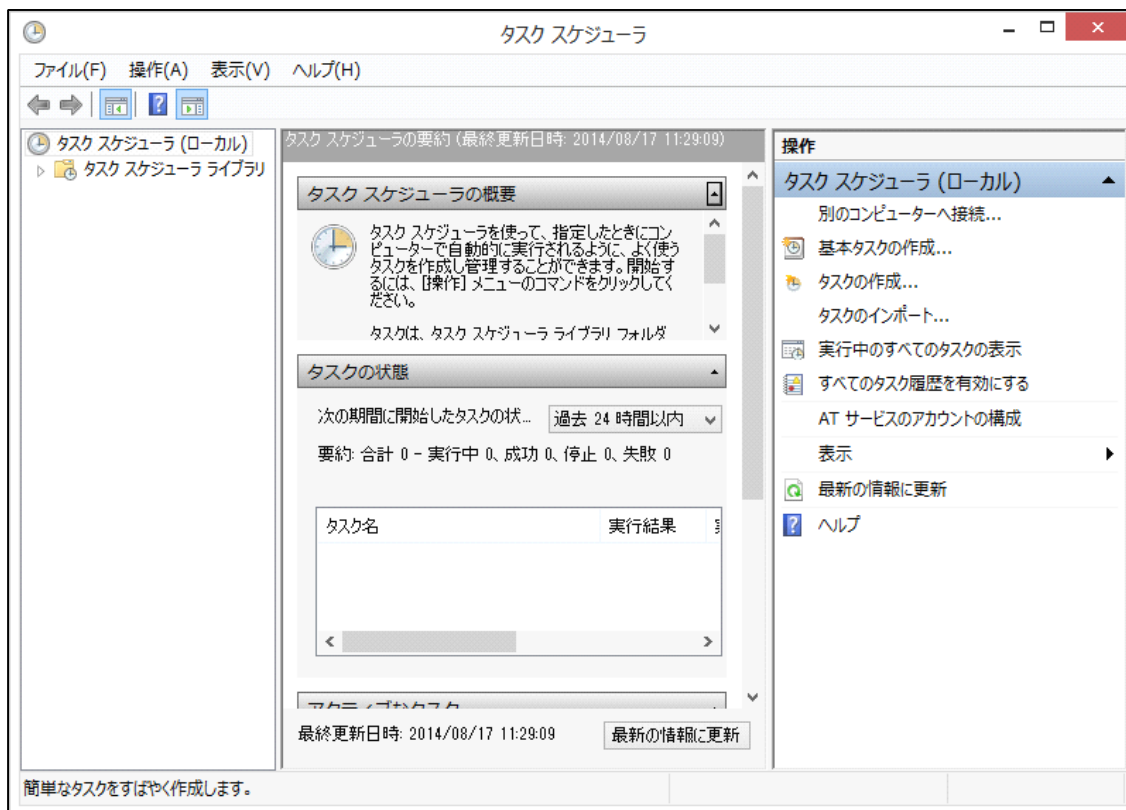
『タスクのスケジュール』を選択すると、『タスクスケジューラ』が起動します。  
起動した『タスクスケジューラ』にツールを自動実行させる為のタスクを設定します。

※お使いの Windows のバージョンやご自身の表示設定により、  
説明画像と一部異なる場合がございます。

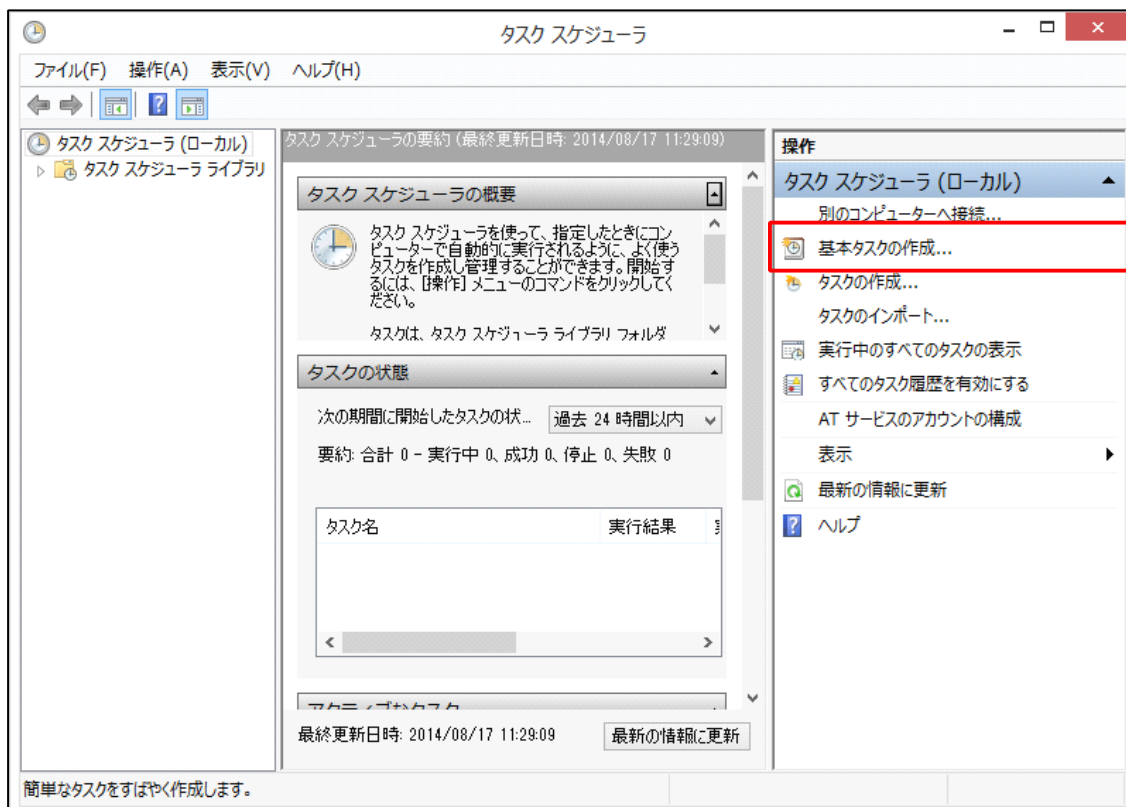
## 2. タスクの作成

タスクスケジューラを起動させると以下のような画面が起動します。

### ① タスクスケジューラ起動



### ② 画面右上の『基本タスクの作成』をクリックします。



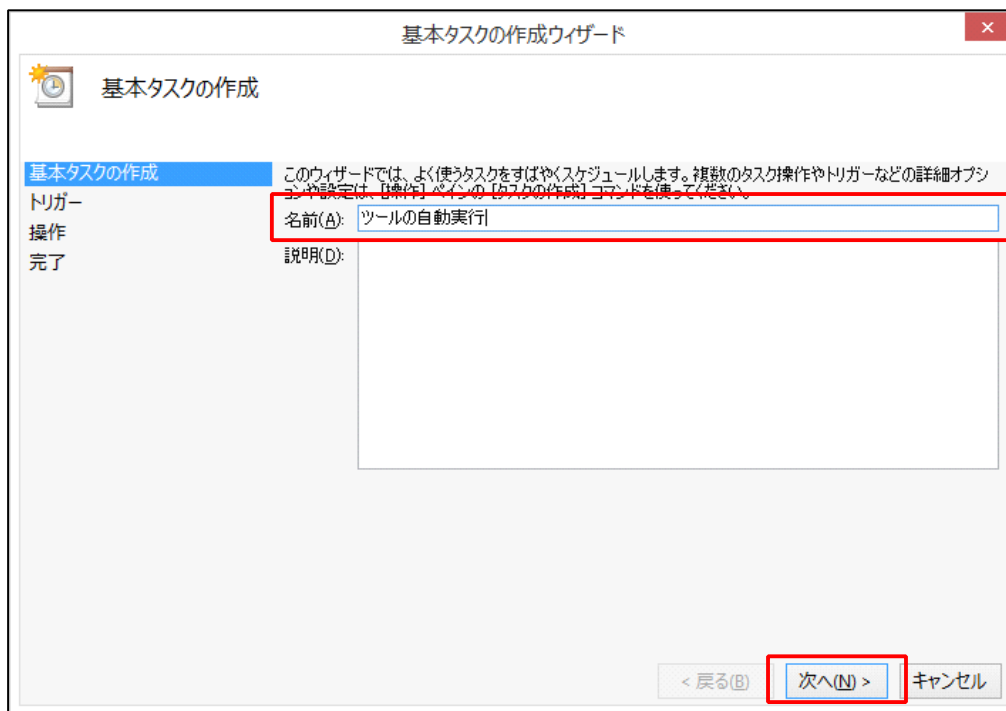
④ 基本タスクの作成（名前）

はじめにこのタスク(ツール自動化の為の)に名前を付けましょう。

名前はタスク作成後、タスク一覧に表示される名前になりますので、

ご自身が見つけやすい名前をつけましょう。

例) ここでは、名前を『ツールの自動実行』としています。



名前を入力しましたら、画面右下の『次へ』ボタンを押下して、次の画面へ進みます。

⑤ 基本タスクの作成（トリガー）



次にトリガー（タスクをいつ実行するか？）を設定します。  
ツールの自動実行は【毎日】実行をさせることになるので、  
『毎日』を選択して、画面右下の『次へ』ボタンを押下して、  
次の画面へ進みます。

【設定手順】タスクスケジューラでツール自動実行 第2版

⑥ 基本タスクの作成（日時）



開始日時と実行の間隔を設定します。

開始日は、あなたがツールの自動実行を開始したい日時を設定してください。

間隔は毎日実行することになるので、『1日』と設定されていればOKです。

画面右下の『次へ』ボタンを押下して、

次の画面へ進みます。

例) ここでは、2014/08/18のAM6:00からの開始するようにしています。

【設定手順】タスクスケジューラでツール自動実行 第2版

⑦ 基本タスクの作成（実行）

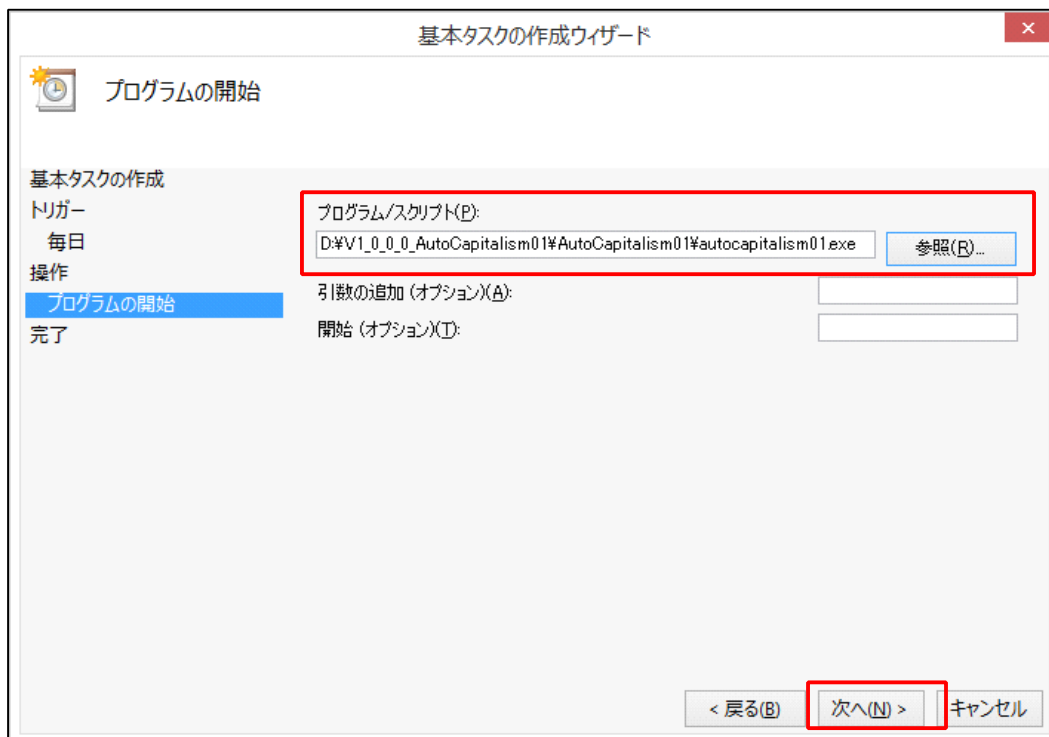


次にタスクでどの操作をしたいのかを選択します。

ここではツールを実行させたいので、『プログラムの開始』を選択し、画面右下の『次へ』ボタンを押下して次の画面へ進みます。

【設定手順】タスクスケジューラでツール自動実行 第2版

⑧ 基本タスクの作成 (プログラムの開始)



タスクで実行するプログラムを選択します。

参照ボタンをクリックして、自動実行するプログラムを選択します。

『引数の追加』および『開始』には何も設定しなくてOKです。

プログラムを選択したら、画面右下の『次へ』ボタンを押下して、次の画面へ進みます。

**※プログラムの選択については、次ページの【注意！！】をご覧ください。**



## 【設定手順】タスクスケジューラでツール自動実行 第2版

### 【注意！！】

ポイント獲得自動ツールを自動実行するにあたっては、

上記画面のように **【autocapitalism01.exe】** を選択してください！！

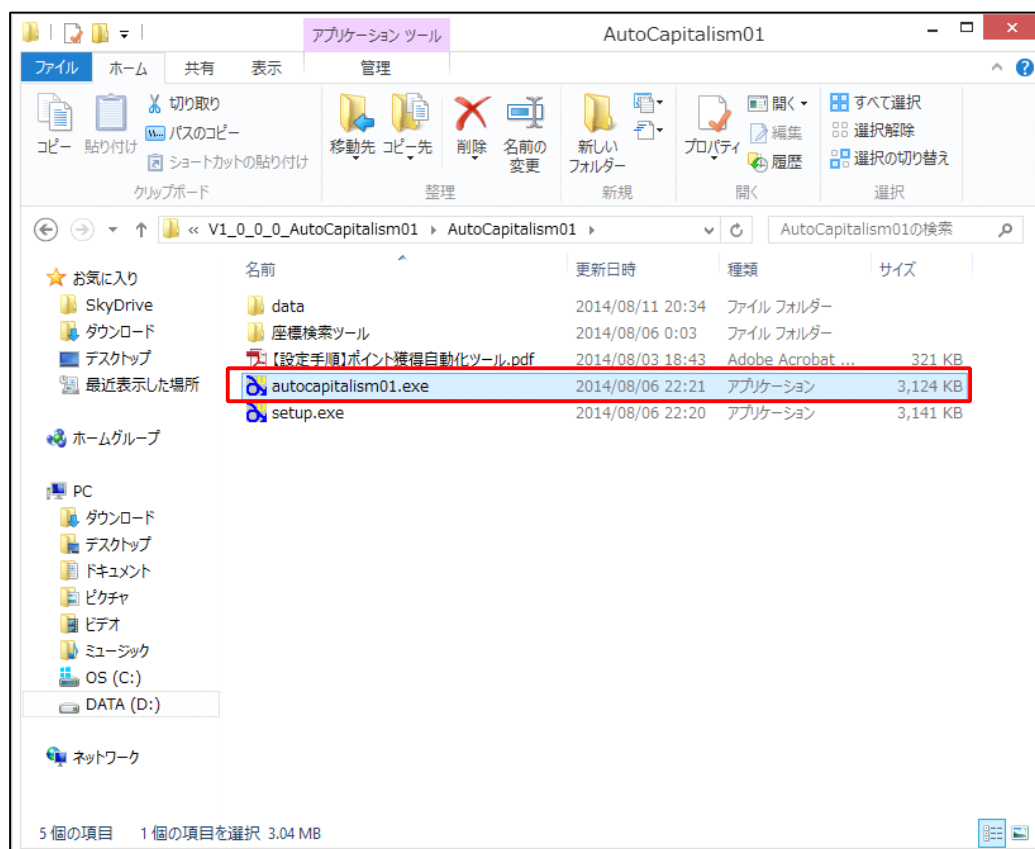
※ **【setup.exe】** を選択しないでください！

【setup.exe】は設定保存用の設定画面を起動させるためのプログラムとなります。

【setup.exe】を自動実行するプログラムに設定しても、

**ポイント獲得自動ツールの自動化は行われません**

のでご注意ください。



## 【設定手順】タスクスケジューラでツール自動実行 第2版

### ⑨ 基本タスクの作成（完了）

基本タスクの作成ウィザード

要約

基本タスクの作成

トリガー

名前: ツールの自動実行

毎日

説明:

操作

プログラムの開始

完了

トリガー: 毎日: 毎日 6:00 (起動)

操作: プログラムの開始: D:\V1\_0\_0\_AutoCapitalism01\AutoCapitalism01\autocapitalism01.exe

『完了』をクリックしたときに、このタスクの [プロパティ] ダイアログを開く  
『完了』をクリックしたときに、新しいタスクが作成され、Windows スケジュールに追加されます。

< 戻る(B) 完了(F) キャンセル

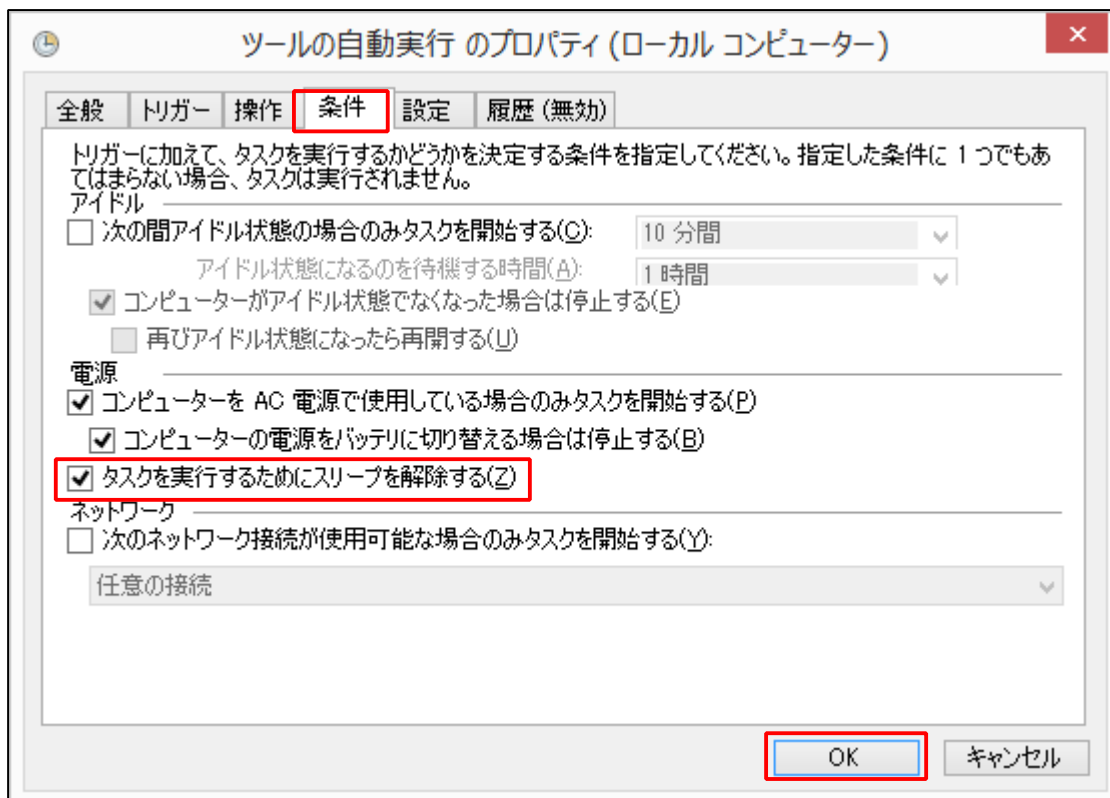
設定した内容に間違いがなければ、

『[完了] をクリックしたときに、このタスクの [プロパティ] ダイアログを開く』にチェックを入れて画面右下の『完了』ボタンを押下します。

これで基本タスクの作成が完了しました。

完了ボタンを押下後、このタスクのプロパティ画面が開きますので、その画面でタスクの詳細な設定を行います。

⑩ タスクの詳細設定（スリープ解除）

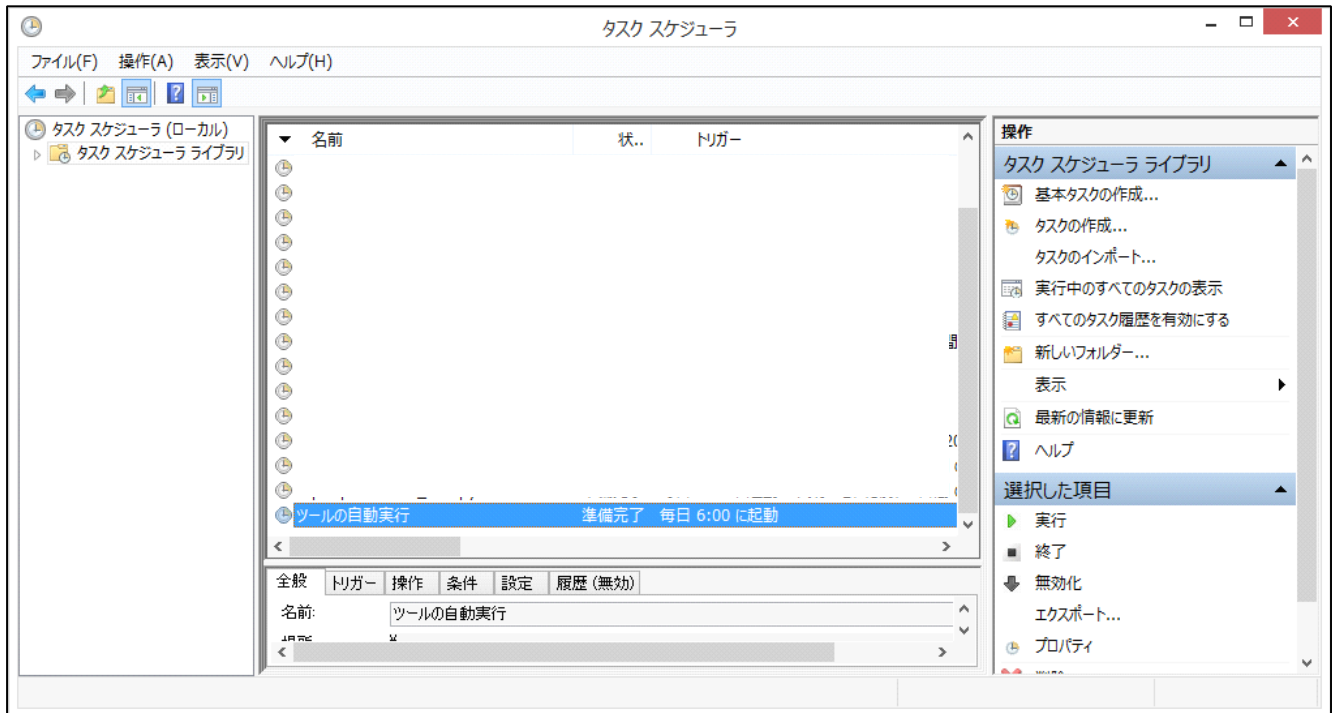


上記のようなプロパティ画面が開きますので、画面の『条件』タブをクリックし、画面内の『タスクを実行するためにスリープを解除する』にチェックを入れます。チェックを入れた後、画面右下の『OK』ボタンを押下して完了です。

※これは、PC がスリープ状態になっていても、自動で復帰してプログラムを実行することができるようにするためです。ツールを自動実行させるためには PC を電源 OFF にせず、スリープ状態で使用する必要があります。

スリープの設定につきましては、「3. 電源管理」にてご説明いたします。

## 【設定手順】タスクスケジューラでツール自動実行 第2版



設定が完了すると上記画面のようにタスクスケジューラ画面の  
実行タスクの一覧に今回作成したタスクが表示されていれば、  
設定完了です。

あとは設定した時刻になれば、設定したツールが自動で実行されます。

### 3. 電源管理

タスクスケジューラの設定は完了しました。

しかしながら、ツールの自動実行を実現するためには  
実行する時間にPCの電源が入っていないければもちろん実行はされません。

ここでは、ツールの自動実行を実現するために、  
PCの電源管理を設定方法を記載します。

PC電源の状態としては以下の4つがあります。

- ① 電源 OFF
- ② 電源 ON
- ③ スリープ
- ④ 休止

ほとんどの方がPCを使わない場合は、『電源 OFF』  
使用するとき『電源 ON』とされているかと思います。

しかし、上記の状態ではツールの実行時間に手動で『電源 ON』をする必要があります。  
これでは自動実行とは呼べません。

そこで、利用するのが省電力モードの『スリープ』です。  
簡単に言えば、「PCに必要最低限の電源のみを使用して、不要な機能は停止させて起動している」  
状態です。

この状態であれば、ツール実行時刻にPCが自動で起き上がり、  
設定したタスクが実行されますので、手動で『電源』を管理する必要はなくなります。

ここでは、ツールの自動実行が終了後に、PCの再起動と起動後のスリープ移行も  
自動化してしまう方法を説明いたします。

## 【設定手順】タスクスケジューラでツール自動実行 第2版

### 1. ツール実行後のPC再起動処理の自動化

- ① ツール自動実行の設定と同様にタスクスケジューラより基本タスクの新規作成を行います。  
(基本タスクの作成は「2. タスクの作成」を参照ください。)

基本タスクの作成ウィザード

タスクトリガー

基本タスクの作成 (いつタスクを開始しますか?)

トリガー  毎日(D)

操作  毎週(W)

完了  毎月(M)

1回限り(O)

コンピューターの起動時(H)

ログオン時(L)

特定イベントのログへの記録時(E)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

トリガーは「毎日」を選択し、次へボタンを押して次の画面へ。

基本タスクの作成ウィザード

毎日

基本タスクの作成

トリガー

毎日

操作

完了

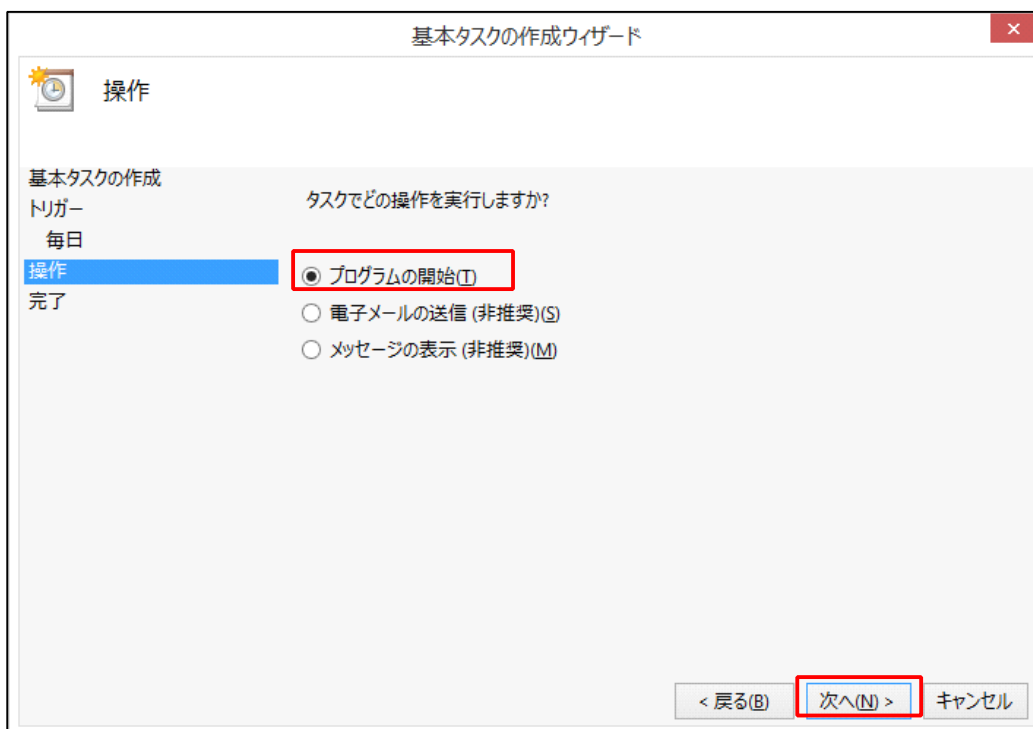
開始(S): 2014/08/18 7:00:00  タイムゾーン間で同期(Z)

間隔(O): 1 日

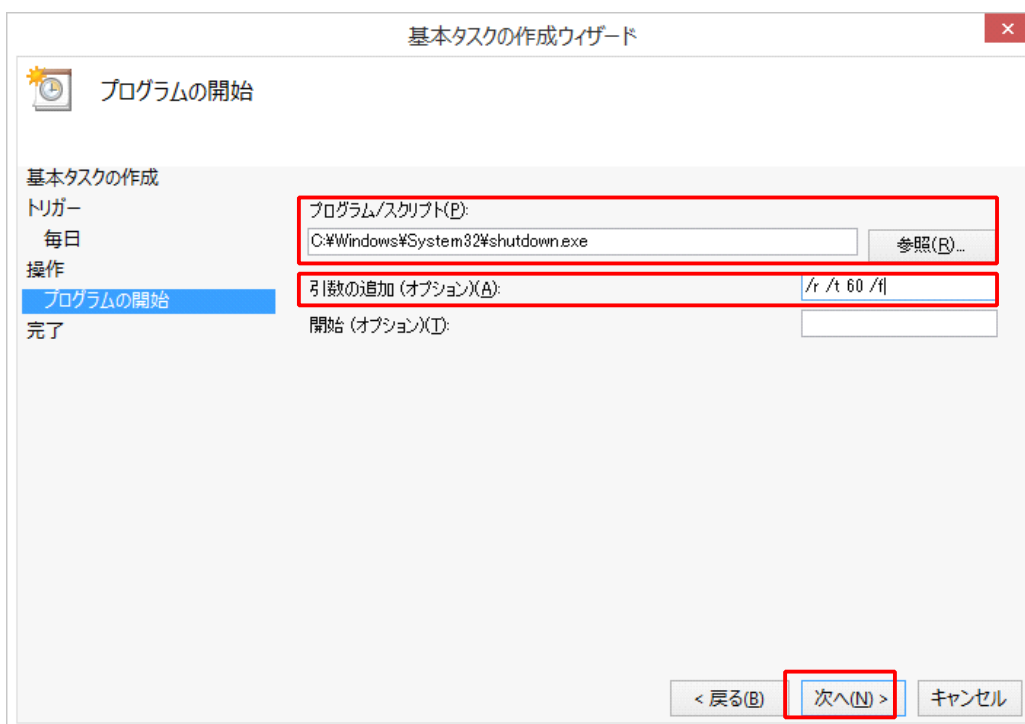
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

- ② 開始時間はポイント自動獲得ツールの自動実行が完了した後の時間を設定してください。  
(例ではツール自動実行開始後の1時間後に設定しています。)  
間隔は毎日とするので「1日」とします。  
入力後、次へボタンを押して次の画面へ。

【設定手順】タスクスケジューラでツール自動実行 第2版



- ③ プログラムの開始を選択し、次へボタンを押して次の画面へ。



- ④ 参照ボタンをクリックし、以下のフォルダ内の exe ファイル(shutdown.exe)を選択する。  
"C:\Windows\System32\shutdown.exe"

次に「引数の追加」へ以下のオプションを入力する。

/r /t 60 /f

(※各オプションの間のスペースは半角スペースで入力してください。)

選択・入力後、次へボタンを押して次の画面へ。

## 【設定手順】タスクスケジューラでツール自動実行 第2版

基本タスクの作成ウィザード

要約

基本タスクの作成

名前: test

トリガー: 毎日

説明:

操作: プログラムの開始

完了

トリガー: 毎日: 毎日 7:00 に起動

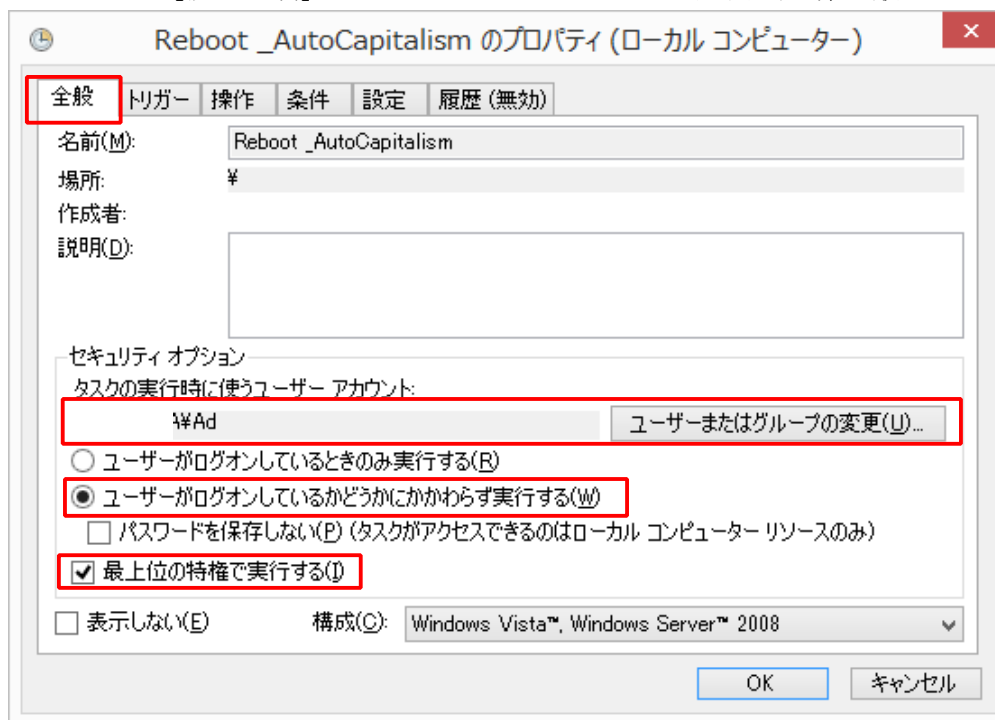
操作: プログラムの開始: C:\Windows\System32\shutdown.exe

完了をクリックしたときに、このタスクの [プロパティ] ダイアログを開く  
完了をクリックしたときに、新しいタスクが作成され、Windows スケジュールに追加されます。

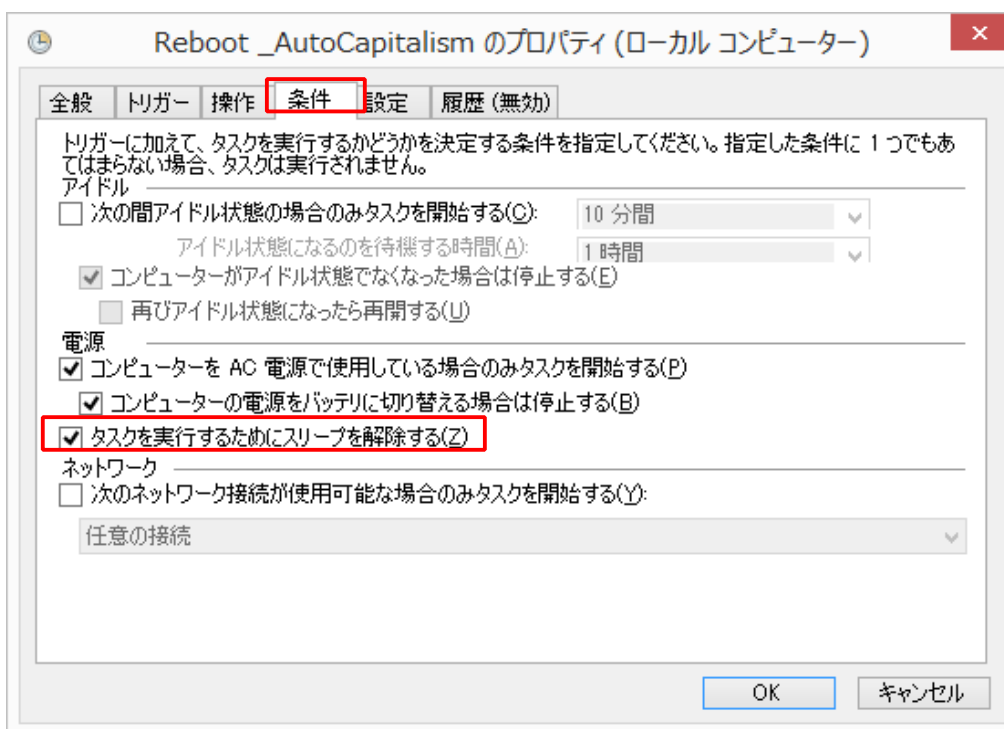
< 戻る(B)    完了(F)    キャンセル

- ⑤ 「トリガー」および「操作」が正しく設定されていることを確認し、  
"「完了」をクリックしたときに、このタスク…"にチェックを入れて、  
完了ボタンを押すと以下のプロパティ画面が開きます。

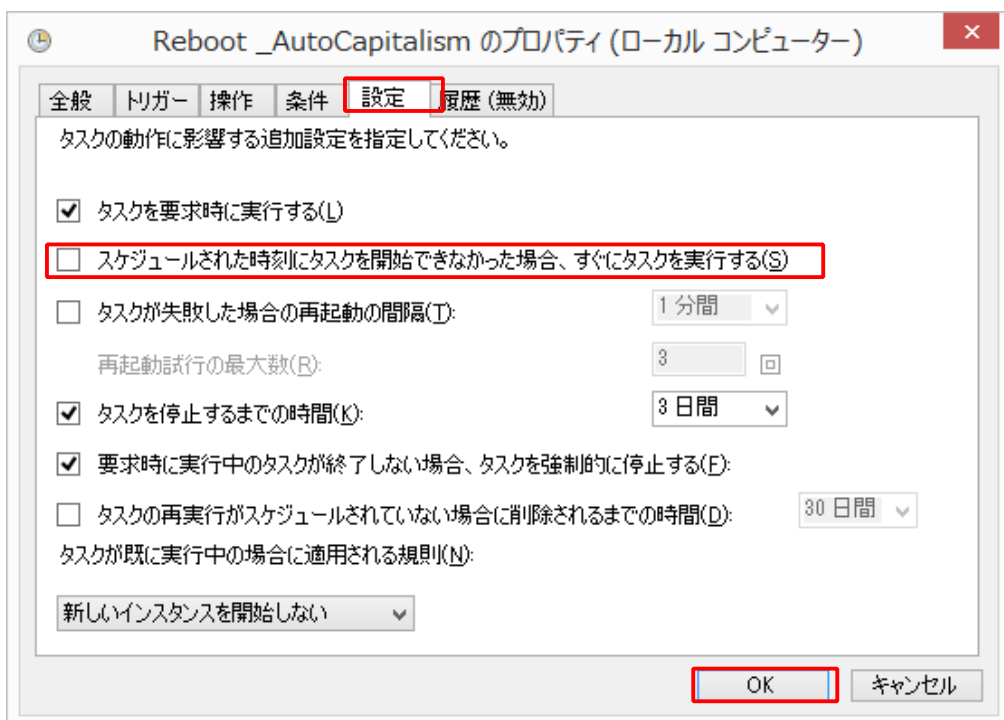




- ⑥ プロパティ画面の「全般」タブをクリックします。
- ① 「タスク実行時に使うユーザーアカウント」へ Administrator(管理者)権限を持ち、パスワードが設定されているユーザーを選択してください。
- ※パスワード無しの管理者ユーザーは選択できませんので、その場合は新規に管理者権限ユーザーを作成し、パスワードを設定してください。  
(ユーザー作成はコントロールパネルのユーザーアカウントより行ってください。)**
- ② 「ユーザーがログオンしているかどうかにかかわらず実行する」を選択します。
- ③ 「最上位の特権で実行する」にチェックをいれます。



- ⑦ 「条件」タブをクリックします。  
 「タスクを実行するためにスリープを解除する」をチェックします。

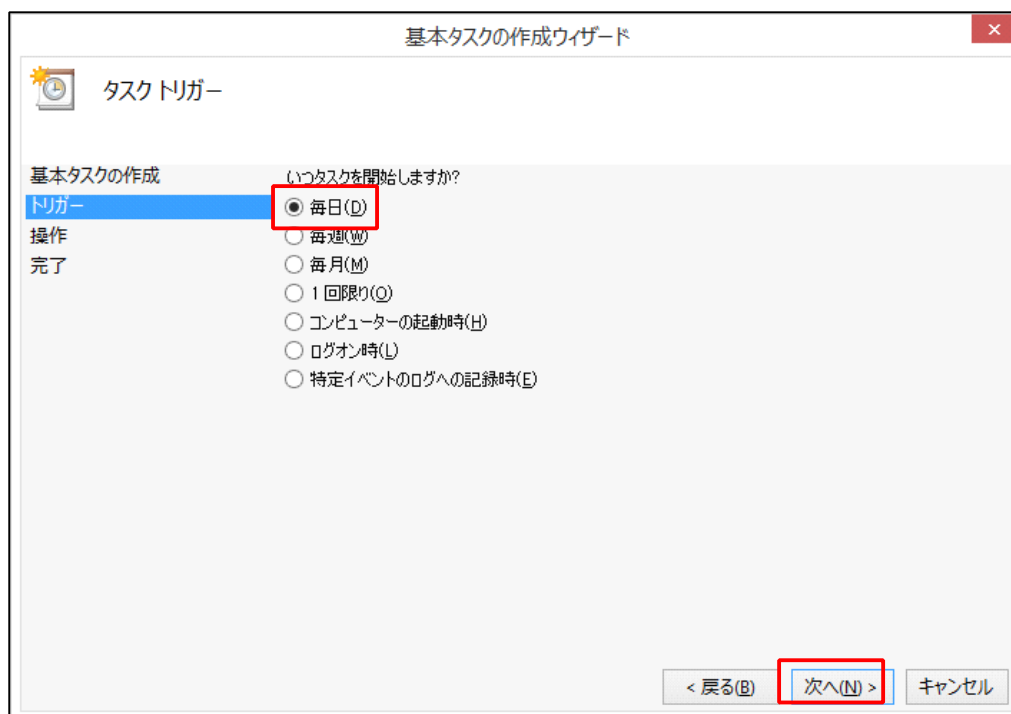


- ⑧ 「設定」タブをクリックします。  
 「スケジュールされた時刻にタスクを開始できなかった…」に  
チェックが入っていないことを確認してください。  
**※【注意】絶対にチェックを入れないでください。**  
 上記を確認したのち OK ボタンを押して設定を完了します。

【設定手順】タスクスケジューラでツール自動実行 第2版

2. PC再起動完了後のスリープモード移行処理の自動化

- ① ツール自動実行の設定と同様にタスクスケジューラより基本タスクの新規作成を行います。  
(基本タスクの作成は「2. タスクの作成」を参照ください。)



トリガーは「毎日」を選択し、次へボタンを押して次の画面へ。

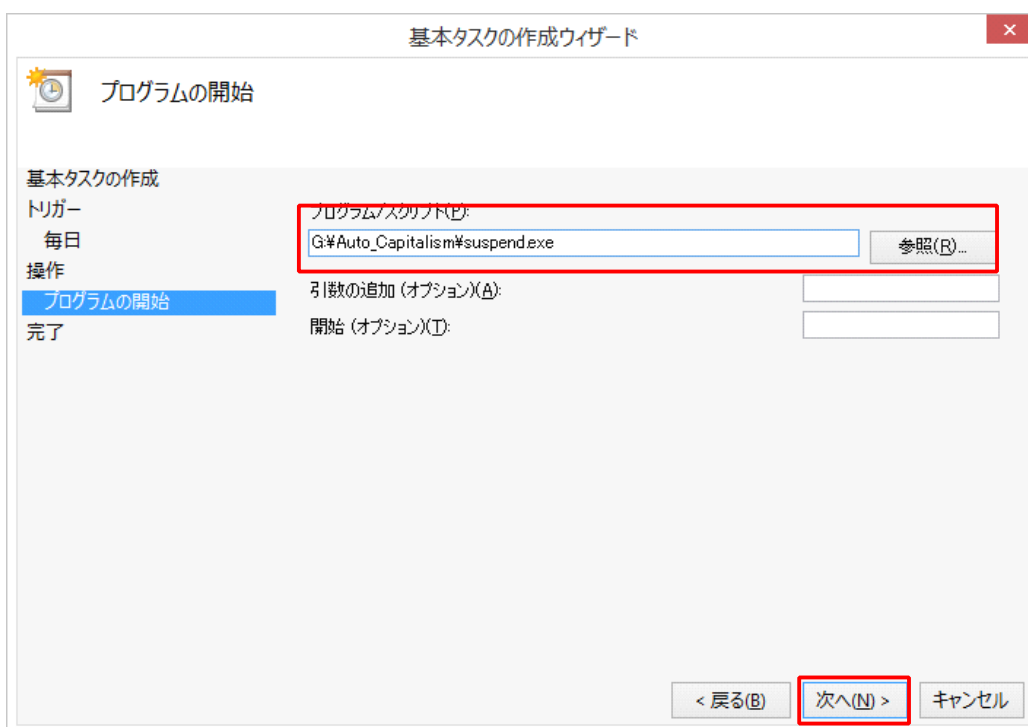


- ② 開始時間はPC再起動処理の自動実行が完了した後の時間を設定してください。  
(例ではPC再起動処理実行後の20分後に設定しています。)  
間隔は毎日とするので「1日」とします。  
入力後、次へボタンを押して次の画面へ。

【設定手順】タスクスケジューラでツール自動実行 第2版



- ③ プログラムの開始を選択し、次へボタンを押して次の画面へ。



- ④ 参照ボタンをクリックし、同梱されている「suspend.exe」を選択してください。選択後、次へボタンを押して次の画面へ。

【設定手順】タスクスケジューラでツール自動実行 第2版

基本タスクの作成ウィザード

要約

基本タスクの作成

名前: test1

トリガー

毎日

操作

プログラムの開始

完了

説明:

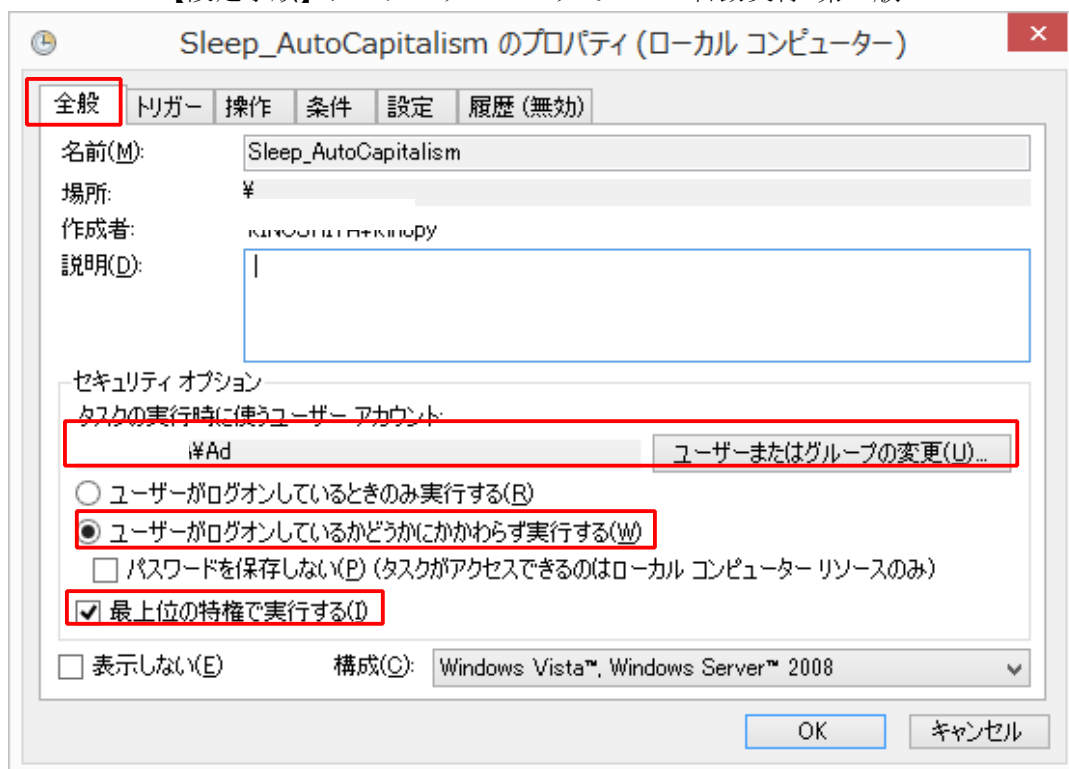
トリガー: 毎日: 毎日 7:20 に起動

操作: プログラムの開始: G:\Auto\_Capitalism\suspend.exe

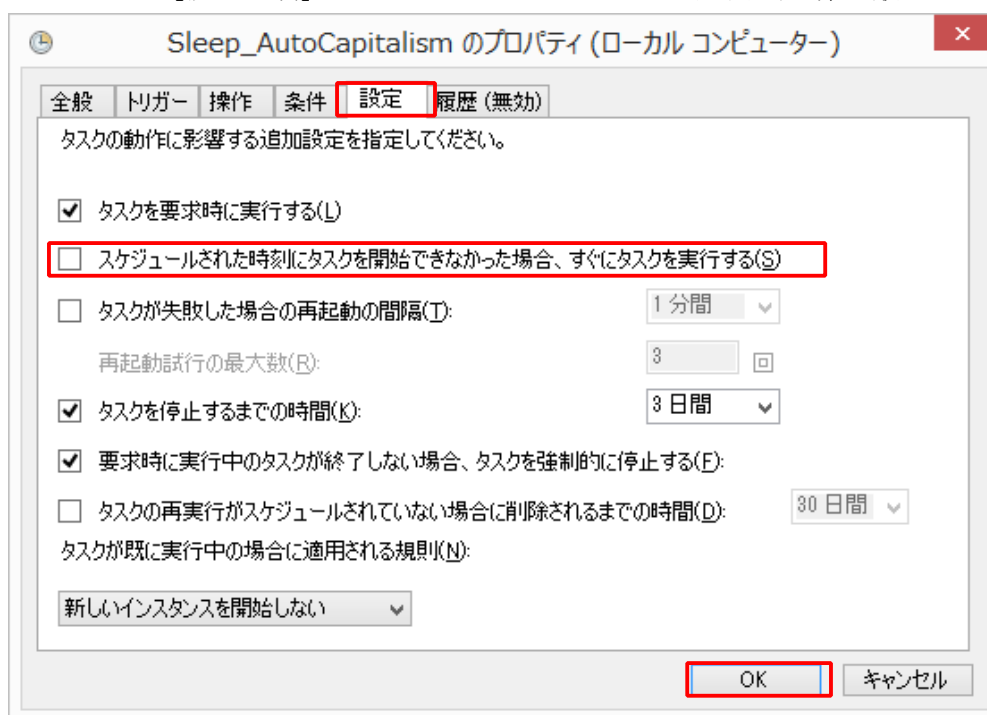
[完了] をクリックしたときに、このタスクの [プロパティ] ダイアログを開く  
[完了] をクリックしたときに、新しいタスクが作成され、Windows スケジュールに追加されます。

< 戻る(B)    完了(F)    キャンセル

- ⑤ 「トリガー」および「操作」が正しく設定されていることを確認し、  
"「完了」をクリックしたときに、このタスク…"にチェックを入れて、  
完了ボタンを押すと以下のプロパティ画面が開きます。



- ⑥ プロパティ画面の「全般」タブをクリックします。
- ① 「タスク実行時に使うユーザーアカウント」へ Administrator(管理者)権限を持ち、パスワードが設定されているユーザーを選択してください。
- ※パスワード無しの管理者ユーザーは選択できませんので、その場合は新規に管理者権限ユーザーを作成し、パスワードを設定してください。  
(ユーザー作成はコントロールパネルのユーザーアカウントより行ってください。)**
- ② 「ユーザーがログオンしているかどうかにかかわらず実行する」を選択します。
- ③ 「最上位の特権で実行する」にチェックをいれます。



- ⑦ 「設定」タブをクリックします。  
「スケジュールされた時刻にタスクを開始できなかった…」に  
チェックが入っていないことを確認してください。  
**※【注意】絶対にチェックを入れないでください。**  
上記を確認したのち OK ボタンを押して設定を完了します。

以上で自動実行化の設定は完了です。お疲れ様でした。

以上の設定を行うことで、

ツールの自動実行 → PCの再起動 → 再起動後スリープモードへ移行

の一連の動作が毎日自動で行われる為、毎日手動でツールを実行する手間が省け、  
効率化が飛躍的にアップできると思います。

また、定期的にPCの再起動を実行している為、PCのシステムの状態としても常に正常な状態を維持することが可能となります。

#### 【注意】

普段のPC使用時に使用終了後にシャットダウン行わずに、必ずスリープモードとすることにだけご注意ください。  
PCをシャットダウンしてしまうとPCの電源がOFFとなってしまう為、自動実行が行われません!